

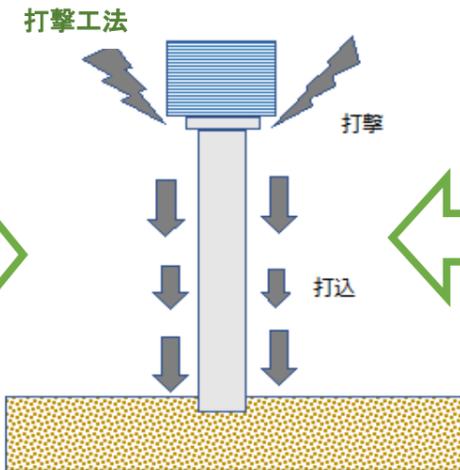
打撃工法  
6つの課題

“防護柵支柱のサイレントストライカー工法”

全メーカーの丸柱・角柱を低騒音・低振動施工を可能にした車両搭載型機械



- ① 作業員の至近距離で 100 d b 以上の騒音が生じることにより、難聴が発生することから心身のストレス過剰が危惧される。
- ② 打撃中に支柱の方向を決める場合、作業員が手でボルト穴に鉄筋等を入れて回転させるため、身体的な危険性がある。
- ③ 打撃による騒音の発生が近隣の住民、幼児・学生、病院患者及び牛舎や鶏舎の家畜などへの影響で作業時間に制約を受ける。



- ④ 支柱頭部を打撃したとき、打撃圧力負荷によっては支柱頭部の変形、損傷が発生する。後付けキャップでは支柱が変形するとキャップの後付けが困難になる。
- ⑤ アスファルト舗装の場合、打撃ではアスファルト表層が変形・変質が生じ支柱を設置できないため、事前にコア開けが必要である。
- ⑥ 地盤の状況で支柱の間隔、高さ、垂直にずれが発生した時の対処で支柱を引き抜き、設置をやり直す場合、別途引き抜き専用機械を用意する必要がある。

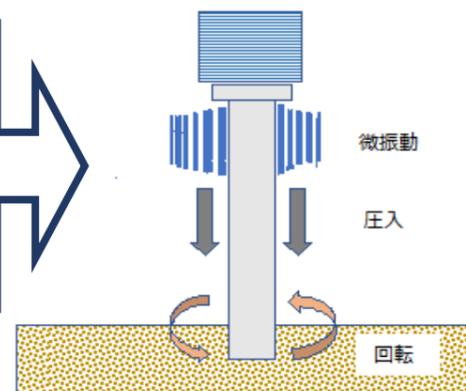


1. 支柱頭部の内側に拡張式爪状サポートを挿入して支柱に密着
2. 防護柵支柱を打撃せず、回転、上下微振動、圧入を同時に実行
3. ロータリーパイプレーションのエネルギーを支柱に集中させ立設
4. 瞬時に支柱から爪状サポートを容易に取り外せる機構。
5. 各操作を1カ所に集中、操作の簡便化を図り、効率性・習熟性が向上。

5つのスゴ技で6つの課題を  
1基数役で解決！！

- ① 支柱を保持しながら回転、圧入に上下微振動を同時に操作する方式のため、打撃音もなく静音で体感騒音を4分の1に減らす。
- ② 支柱の内側を拡張して掴み回転する為、立設中に支柱の方向を決めるのに支柱のボルト穴は不使用で身体的に安全。
- ③ 静音により近隣周辺環境への影響もなく、作業員の負荷も減少し、昼夜を問わずの作業ができるようになる。

サイレントストライカー工法



- ④ 支柱の外観を傷つけることなく圧入した後キャップを取り付けるので、支柱やキャップに損傷がない。
- ⑤ 回転、上下微振動、圧入を同時に行うことで、土中のみならずアスファルト路盤へ直接施工も可能とする
- ⑥ 支柱の内側を拡張して掴む為、支柱外部、上部を傷つけず、変形等が発生しないため、1基で専用機械も必要なく支柱の引き抜き、支柱の再設置や再利用が可能となる。

【サイレントストライカー工法の信頼性】

製品の信頼性：当社の打撃工法車両搭載型機械エアーストライカーの提供実績を裏づけとする信頼性・安全性を有し車両の改造から全工程自社製造を実施している為、スピード感ときめ細かいサービスを提供出来ます。  
 P L 法：車両である為、自動車損害賠償保険及び対人・対物の任意保険が優先されます。車両本体は車両メーカー、ロータリーパイプレーションは機械メーカー、機械全体は弊社のP L 保険を適用しています。

【サイレントストライカー工法の施工実績】

平成24年7月東北整備局管轄で施工開始、以来平成25年1件、平成28年には7件と28年12月末までの4年半で全9件、東北・中部・近畿・九州整備局管轄の工事において夜間、積雪、畜舎・病院近辺などの厳しい環境下においての施工で高い評価を受けています。

問合せ：大正工業株式会社 担当 藤野俊二  
 所在地：〒559-0011 大阪府大阪市住之江区北加賀屋3丁目2番21号  
 電話番号：06-6685-4901 FAX番号：06-6685-7375

